

運動を通して子どもたちの夢を応援！

スタートランドは、川合住宅設備株式会社が2015年に開設した、子どもから大人まで体を動かす楽しさを味わえるスポーツ施設です。体操教室を中心にアクションやチアリーディング、バク転などの多彩なクラスを展開し、技術を身につけるだけでなく「遊びながら運動が好きになる」「続ける楽しさを実感する」「感性を育む」ことを大切に指導しています。また、スポーツに触れられるイベント「川越アクションフェスティバル」を主催するなどスポーツをとおした地域貢献活動にも力を入れています。入社5年目の齋藤悠生さんは、川合住宅設備株式会社の社員として働く傍ら、スタートランドでは運営サポート兼イベントプロモーション担当として、子

施設名の「スタートランド」には、子どもたちの「挑戦のスタートの場」や「新しい習い事のスタートの場」、地域の人とつながる「交流のスタートの場」と思いが込められています。



もたちの指導をしたり、イベントの企画、広報やPR活動を行っています。入社前はアクション俳優をやりながら、俳優にアクションや殺陣を教えるほか、幼児体育の指導をしてきた齋藤さん。川合社長に声をかけられ、「自分にできることがあれば」と入社を決めました。「今は3歳から中学生までの子どもに体操を教えています。小さな子には、遊びの延長の要素を持たせてアスレチック



齋藤悠生 さん

SAITO YUKI

2020年に川合住宅設備株式会社に入社。スポーツ施設「スタートランド」で子どもたちの指導などを行う。子どもたちに伝えていることは「楽しむこと」。子どもたちが自発的に様々なことに挑戦するようになることが喜びだといいます。



地域密着型の スポーツコミュニティを 広げたい

を楽しむような指導を、小学2～3年生くらいからは側転などの実践的な指導を行います」と齋藤さん。

大切にしていることは安全に運営すること。怪我や事故がないように先を見て動いています。「運動能力や理解力には個人差があるので、どの子にも楽しんでもらえるように声の掛け方を変えたり、教え方を工夫したりしてみんなが楽しめるように心がけています」頑張るので



子どもたちに指導を行う齋藤さん。「できた！」「また来たい！」と思ってもらえるような体を動かす楽しさをクラスでは伝えています。

はなく楽しむことで自己肯定感がアップし、技術の向上も促されると齋藤さんは考えます。今後は住宅事業で培った力とスタートランドでの指導や地域貢献の取り組みを融合し、地域密着型のスポーツコミュニティを広げる活動をしたいそう。また、アクション俳優を目指していた子が、今年俳優養成所の試験に合格しましたが、このように夢を応援することも大きなやりがい。「これからも夢を持つ子どもを応援しつつ、保護者には安心して子どもを任せられる居場所になるよう、自分自身もレベルアップし続けていきたいですね」と溢れる笑顔で語ってくれました。

川合住宅設備株式会社 〓 川越市岸町2-10-25 ☎ 049-242-7477
🌐 <https://www.1968kawai.co.jp>

スタートランド 〓 川越市岸町2丁目36-8 ☎ 049-293-8588(受付時間 8:30～18:00 ※日、祝日は除く) 🌐 <https://startland-kawagoe.com>